

第3回阿波おどり未来へつなぐ実行委員会 議事録

日時：令和5年7月26日（水） 10時30分～11時30分

場所：アスティとくしま 3階 第1特別会議室

出席者：委員21名（内オンライン参加3名）

オブザーバー1名

【開会】

【報告事項】

報告事項1 「両国本町・新町橋演舞場、両国橋南おどりロードの運用」

- ・両国本町演舞場及び新町橋演舞場について、開場は18時、開演は18時10分からとする。これは交通規制が開始する18時までは演舞場内に立ち入らないよう、警察機関から強く要請があったためである。栈敷席は18時まで栈敷に座ることが無いよう警備員を配置し、栈敷にロープを張るとともに、18時からの入場を周知するための張り紙も掲示する。
- ・両国橋南おどりロードについて、18時からの交通規制後、おどりエリアと見物エリアを区切るコーンとバーを設置する。18時30分から開演し、21時30分終了とする。

報告事項2 「交通規制」

- ・第2回実行委員会で示した交通規制エリアに、富田町エリアの交通規制を加える。地元の富田町商店街振興会から、富田町エリアに交通規制を実施して欲しいとの要望を受け、警察機関と協議した結果、追加が決定した。
- ・資料報告事項2ページの黄色点線内の住民の方へ、交通規制を周知するため、8月初旬から通知文を配布する予定である。

報告事項3 「チケットの販売状況」

- ・プレミアム栈敷席を除く7月25日10時時点でのチケット販売状況については、12日の有料演舞場については、すでに昨年の最終実績を上回っており、チケット売上総額は、1億1千万円以上となっている。
- ・国内旅行の動向がコロナ前の水準まで回復すると言われていた中、それを裏付けるようにチケット販売についても好調であり、本番に近づくにつれて、さらにチケット販売数も伸びていくものと想定している。

報告事項4 「演舞場等の申込受付状況」

- ・有料演舞場等優先申込の受付状況については、5月11日から23日まで間、藍場浜、南内町の有料演舞場及び両国本町演舞場を対象とした優先申込を受付したところ、優先連が49連、優先連と一緒に踊る連が55連、障害者団体等の連は無く、その他実行委員長が認

める連が 55 連、合計 159 連の申込があった。

- ・無料演舞場等出演連の申込受付状況については、6 月 29 日から 7 月 10 日までの間、新町橋演舞場や両国橋南おどりロードなどを対象とした出演連の募集を行ったところ、169 のおどり連から申込があり、去年は 94 連であったため、去年を大きく上回る申込の状況となっている。
- ・現在、張付け作業を進めており、8 月上旬までには、決定通知書を発送する予定である。有料演舞場等の申込で希望に沿えなかった連が 4 連あるが、無料演舞場等での踊り込みについて、調整を進めている。

報告事項 5 「感染症対策」

- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが、2 類相当から 5 類に引き下げられたことに伴い、昨年 6 月に策定した新型コロナウイルス感染症対策実施マニュアルを廃止し、感染症対策については資料報告事項 4 ページのとおりとする。
- ・昨年義務付けていた、マスクの着用や身体的距離の確保などの設定は行わず、発熱や体調不良時には、阿波おどりへの参加・来場は控えてもらうことや、マスクの着用は個人の判断になること、咳エチケットや手洗いを推奨することを、阿波おどりへ参加・来場者へお願いする。
- ・実行委員会の感染症対策の取組としては、前夜祭会場の控室エリアを拡大し、屋内公演の控室へ空気清浄機やサーキュレーターを増設、また、各会場の入り口等へは手指消毒液を設置することとする。

(杉原委員)

- ・お花畑踏切から藍場浜公園への道について、車や歩行者の整理が必要である。警備を出してもらるか警察に来てもらいたいとあると考えるが、そのあたりの調整はどうなっているか

(事務局)

- ・去年の状況も踏まえて、警備を配置し対応する。

(京野委員)

- ・演舞場の申込受付状況について、優先連とは有名連のことか。
- ・有名連と一緒に踊る連というのは、企業連という認識でよいのか。
- ・実行委員長が認める連というのは具体的にどういうところなのか。
- ・現在の実行委員長は誰か。

(事務局)

- ・優先連についてはいわゆる有名連である。徳島県阿波踊り協会および阿波踊り振興協会に

所属する連である。

- ・優先連と一緒に踊る連というのは、企業連等である。
- ・その他実行委員会が認める連というのは、日々阿波おどりに研鑽を積んで技術の向上を目指して、練習を続けているような連が該当する。

(弘田実行委員長代行)

- ・私が実行委員長を代行している。

(岸田委員)

- ・企業協賛は今年どれぐらい集まっているのか。

(事務局)

- ・企業協賛については150社以上の協賛をいただいている。
- ・ネーミングライツも含め5,200万円以上の協賛をいただいている。
- ・事業計画では4,500万円を計上していたが、それを超える額の協賛となっている。

(西岡委員)

- ・今年は人が多そうであるが、動線をどう考えているのか。
- ・露店が出るエリアは決まっているのか教えてほしい。

(事務局)

- ・動線については資料報告事項2ページの赤い線の道もしくは緑の線の道を移動の動線と考えている。また、黄色い線の内側の道路を通行してもらう。
- ・露店の出店については藍場浜公園内、水際公園内、ボードウォークを中心として出店を予定している。

(西岡委員)

- ・混雑により、踊り子の移動に時間がかかる。また、子どもや高齢者は通行に危険を感じる。警備等含めて滑らかな誘導をしてもらいたい。

(弘田実行委員長代行)

- ・バス関係、旅館関係、学生の皆さんの話を聞きたい。

(楠委員)

- ・バスの予約状況については、弊社は12日13日14日がほぼ満車、15日は少し空きがある。他の事業者も7~8割程度埋まっている。全体的に去年の倍くらいのバスが運行する。

- ・お客さんはあわぎんホール裏でシャトルバスから降り、市役所からシャトルバスに乗る。この周囲の動線が大変混雑すると見込まれるので、気を付けてほしい。

(森浦委員)

- ・旅館への問い合わせは前年度より非常に多い。特に13日までの問い合わせが多い。
- ・値段については組合から各旅館に伝えているが、旅館によって対応が違うので、それを加味して予約してほしい。
- ・できるだけトラブルのないように気を付けたい。

(美馬委員)

- ・徳島大学の各連も阿波おどりを盛り上げられるように、日々練習に励んでいる。

(休場委員)

- ・文理大学連も一生懸命練習を頑張っている。阿波おどりを盛り上げるために頑張りたい。

(弘田実行委員長代行)

- ・山田委員に、現在の感触を話してほしい。

(山田委員)

- ・コロナの感染が多少見受けられるが、各連阿波おどりを目前にして盛り上がっている。
- ・チケットの売り上げ状況等から、非常に明るい兆しのあるイベントになるのではないかと期待が膨らんでいる。
- ・旅館等の対応については次年度以降についても、期待はできないと実感している。旅館等に限らないが、繁忙期の特別価格について常識的な範囲に収まるよう議論できる場を作ってほしい。

(杉原委員)

- ・新聞で発表される集客人数が目視だったと聞いているが、手段はほかに無いのか。
- ・SNSで阿波おどりを検索すると東京阿波おどりや高円寺阿波おどりが出てくる。徳島の阿波おどりは20万円の席くらいしか話題になっていない。SNSを使った阿波おどり自体の宣伝ができていないのではないのか。

(立川委員)

- ・ダイナミックプライシングについて、8月15日の藍場浜演舞場のチケットは当初の価格の3割増しになっている。どういう基準でこの価格になっているのか。

(事務局)

- ・金額の決定については直近のチケットの販売状況が大きな要因となっている。

(立川委員)

- ・14日、15日が平日であるのにチケットの価格は高くなっているのが疑問だった。ダイナミックプライシングについては価格の変動ということしか認識されていない。チケットが売れているから価格が高くなっているといった価格変動の理由が消費者から認識できるようにする必要があるのではないか。
- ・SNS等を利用して情報を発信していくのは非常に重要であるが、現在それらの発信は個々の連に委ねられている。実行委員会がSNSやホームページを活用して阿波おどり全体の情報を発信すべきである。

(京野委員)

- ・SNSやホームページを具体的にどのように使用しているか教えて欲しい。

(事務局)

- ・阿波おどり実行委員会の公式ホームページで情報を発信している。
- ・徳島市の観光に特化した公式サイトのFun! Fun!徳島で情報を発信している。
- ・徳島市のインスタグラムで写真とコメントで情報を発信している。

(立川委員)

- ・現在のSNSは、以前と違いハッシュタグをつけるだけでは検索に引っ掛かりにくくなっている。皆が見ているものが優先して検索されるため、まず人が見るもの、映像が重要である。映像が検索にヒットすれば爆発的に伸びていくため、30秒程度の短い練習風景等でも良いので挙げていくべきである。ハッシュタグをつければ見てもらえるという認識は改めるべきである。

(山田委員)

- ・SNSによる発信を強めていくためのシステムを構築し、SNSのエキスパートを委員会内で育成する必要がある。

(弘田実行委員長代行)

- ・情報発信については昨年の12月に専門部会を作る予定であったが、現在機能していない。改めて情報発信の在り方について実行委員会の専門部会として進めていきたい。
- ・本日の会議については以上とする。

【閉会】